

お知らせ

夏休み一日集中講座を開催！

- ▶ 普段の勉強がなかなか集中できない
- ▶ 溜まった質問について納得できる答えが得られない
- ▶ 勉強の仲間がいない
- …などの悩みを持っている方へ朗報！

“百聞不如一见”  
「百聞は一見にしかず」  
ぜひ福岡漢語学院へ  
体験してみませんか？

※ 本学院は夏休みの間、  
日曜日を利用して一日集中講座を行います。  
クラス分けは次の通りです

- 留学生と会話練習講座（レベル問わず）  
日時：7月31日 午前10時～12時 費用：2,000円
- 初級講座（中検準4級、4級、HSK1～3級程度）  
日時：8月 7日 午前10時～午後3時 費用：3,000円
- 中級講座（中検3級、HSK4級程度）  
日時：8月21日 午前10時～午後3時 費用：3,000円
- 上級講座（中検2級、HSK5級以上程度）  
日時：8月28日 午前10時～午後3時 費用：3,000円

※ 昼食12時～1時  
（※ 希望者のみ講師と中華弁当を食べながら中国について語り合う）  
※ 定員：各講座12名（先着順・定員になり次第締め切ります）  
※ 申し込み方法  
電話：092-522-9587／携帯：090-1197-9045  
FAX：092-929-0208  
E-mail：hanyuxueyuan303@gmail.com

世界中どこでもサポート  
国内バスツアーもお手伝いする

株式会社 アジアネットツアー

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-6-1  
TEL (092) 436-3678・FAX (092) 436-3677

伝統から革新まで  
書道用品のバイオニア

上海堂

〒806-0022 北九州市八幡西区藤田1-3-15  
TEL (093) 621-0345・FAX (093) 641-8935

●第29回蘭亭書道展（本会関係分）

受賞おめでとうございます!!

- ◆ 王羲之大賞 : 白石志野
- ◆ 王羲之準大賞 : 大石碧都
- ◆ 古谷蒼韻賞 : 高島紘代
- ◆ 山口朝日放送賞 : 結城翠雲
- ◆ 鹿児島放送賞 : 宮崎尚美

●第44回日本の書展 <九州展>

- ◆ 会 期：7月14日（木）～7月18日（月・祝）
- ◆ 会 場：福岡アジア美術館（福岡市博多区下川端）
- 出品者：招待・川波猗峰  
選抜・上野大河、成吉滄耀（本会関係分）



WEBサイト制作・保守・管理・各種印刷物・デザイン  
URL: http://www.cuoore.co.jp

株式会社 クオーレ

〒810-0013 福岡市中央区大宮2-6-12  
TEL (092) 401-2011 info@cuoore.co.jp

福岡漢語学院

住 所：〒810-0014 福岡市中央区平尾2-3-15-303  
電 話：092-522-9587 FAX：092-929-0208  
E-mail：hanyuxueyuan303@gmail.com

書法研究団体「錦社」

住 所：〒818-0053 福岡県筑紫野市天拝坂4-10-9  
電 話 / FAX：092-929-0208  
E-mail：hanyuxueyuan303@yahoo.co.jp

中国語と書の日中文化交流情報誌

錦華通信 Vol.5

支援熊本我们能做什么？

连续两天的7级地震及上千次的余震，使熊本县遭受了严重的损失。4月17日随同香港凤凰卫视的采访组进入了地震灾区，目睹了各地受灾的惨景，也看到了当地县市町工作人员



尽力帮助避难者的生动情景，更感受到“一方有难，八方支援”的巨大力量。这组照片就是在采访过程中拍下来的。

面对如此惨重的震灾受损，我们身居邻县既不能停留于一时救灾更不可坐视不问，经研究决定以福冈汉语学院，NPO青少年教育基金会为中心成立“熊本支援队”，广泛收集灾区信息，开展长期的，稳定的，切合实际的支援活动。敬请各界人士积极参与，并关注活动通知。

报名方法：直接与福冈汉语学院联系

中国の世界遺産

張家界・武陵源は中国の著名な名勝地で、中国湖南省西北部にある武陵源山脈中部に位置し、張家界市武陵源区に属している。張家界国家森林公園・国家地質公園、索溪峪自然保護区、天子山自然保護区、楊家界新景区の4カ所からなっている。総面積は約369km<sup>2</sup>で、その内、中心観光区の面積は264km<sup>2</sup>である。峰、谷、水、林、鍾乳洞で有名になり、1992年に世界自然遺産に登録され、2004年に中国第一回目の<世界地質公園>と認定され、2007年に第一回目の国家AAAAA級の旅行観光区として承認された。

武陵源に立ち並んでいる独特の珉岩柱群は国内外でも珍しいもので、「奇峰三千」と呼ばれている。217.2km<sup>2</sup>の中心風景区には珉岩山峰が3103個あり、山の形は神様、鳥、野獣、物体のようで、変化多様である。雨後の晴天或いは連続雨天の時、谷から立ち昇る霧が群山の周りに漂って、雲海が厚くなったたり薄くなったりに連れて、石の峰が隠れたり現れたりして、仙境そのもののようである。

発行日：2016/6/15

発行所：福岡漢語学院・錦社

福岡市中央区平尾2-3-15

☎092-522-9587

http://www.tigaohanyu.com



熊本を支援するには、  
我々にできることは一体何か？

二日間のマグネチュード7以上の大地震及びその後の千回以上の余震によって、熊本県は甚大なる被害を受けまし

た。地震直後の4月17日から香港フェニックステレビ局の報道班を案内して、被災地に入りました。この目で被災された悲惨な光景を見、この目で地元の県、市、町の各部門の関係者の必死に避難者を支援する姿を見ました。「一方被害、八方支援」の巨大な力も実感させていただきました。これらの写真は当時取材していたところで撮ったものです。

このような極めて大きな震災の被害に直面して、我々隣県に住んでいる人間はほんの一時的な支援では足りないし、他人事として扱うことは到底できません。検討した結果、福岡漢語学院・NPO青少年教育支援会を中心にして、「熊本支援隊」を設立いたします。被災地の情報を広範囲にわたり収集し、長期的かつ定期的に、現地状況に適合する支援活動を行います。各方面の皆様、どうぞ積極的にご参加をお願い申し上げます。また、これからの活動告知にもご注目ください。お申し込みは福岡漢語学院まで。



■張家界・武陵源

■登録年1992年

■世界自然遺産



観光客の笑顔は我々への最大のご褒美！

太宰府天満宮で中国語で案内するボランティア活動が昨年10月にスタートして、もう7ヶ月が過ぎました。活動が始まってから、毎週日曜日は参加者の皆さんは、各自の交通手段で時間通りに西鉄太宰府駅に集まり、素早く準備して、元氣よく挨拶を交わしてから、笑顔で活動を始めます。今まで、中国大陸（北京、上海、天津、広州、瀋陽、成都など）、香港、マカオ、台湾及び韓国、タイ、マレーシア、シンガポール、ハワイ、アメリカ、イタリアなど数多くの観光客を案内しました。日本の文化、歴史を来日外国人に中国語（たに韓国語、英語）で、できるだけ詳しく伝えるように、皆さんはさまざまな苦勞をしてきました。まず太宰府の歴史、天満宮周辺の観光地などを調べ、中国語に訳し、最後にしっかりと覚えなければなりませんし、とっさの出来事に責任を持って対応しなければならない場面も生じます。半年以上にわたる活動の中には、観光案内のほかに、道に迷った人を駐車場の集合場所へ連れて行ったり、観光案内後レストランまで一緒に入って、交流しながら食事をしたりしたボランティア活動者もいます。また、観光客が突然尋ねて来て、病院まで同行し、通訳・介護を兼ねて、観光客の面倒を見たこともあります。でも、我々の努力と助けによって、観光客が太宰府天満宮の歴史、風景を満喫し、その後の彼らの笑顔を見、お礼の言葉を聞くにつけ、この時こそ我々は他では得ることができない喜びを全身に感じます。更に努力して、観光客に十分に満足していただくように、高い目標を目指し頑張ろうと決意を新たにしました。



中国語を勉強している皆さん、どうか今まで習った知識を活かし、我々のボランティア活動に参加してみませんか。中国人観光客と交流しながら、自分の中国語を常にレベルアップさせ、更に日本の歴史・文化・日本人の真心を外国人に伝えられることは、まさしく一石多鳥の効果ではありませんか。では、太宰府でお待ちいたします。連絡先：福岡漢語学院まで



中国の旅・大学での交流会

平尾教室 古川

今年3月30日に李先生引率の下一行7名、北京天津の旅に出発しました。青島経由で北京首都国際空港へ。その後地下鉄で移動、宿泊地王府井へ無事到着。ホテル近くの食堂で安くて美味しい中華料理を堪能し、大満足の1日目が終了。2日目、天安門広場、故宮を見学。壮大な中国を満喫しました。3日目はこの旅最大のイベントかつ楽しみである天津科学技術大学訪問の日でした。新幹線で天津まで行き、有名な「狗不理」で舌鼓をうった後、車で大学に向かいました。途中の悪路が嘘のようにきれいな街並みに変わり、その中に大学がありました。名前は科学技術大学ですが、日本語学科があり、待っていてくれたのはこの学科の5人の優秀な学生達で、私たちを「先生」と呼んで歓迎してくれました。彼らは口を揃えて「日本人と話す機会がない」と嘆いていましたが、わずか1年半の学習で流暢な日本語を話し、感心させられました。勉強方法を聞くこと日本のドラマをよく見るとのこと。2人の女学生は今秋と来春長崎大学に留学が決まっているそうで、その節は是非福岡に来てくださいねと再会を約束してお別れしました。一般の観光旅行では味あえない経験や出会いに感動し、充実の1日でした。最後の日は西太后の遊樂地<頤和園>へ。清明節三連休初日で、地方から出てきた多くの人で賑わっていました。4泊5日の旅も無事終了、先生と同学達に感謝の旅でした。



千字文の世界 (5)

釈文

jīn shēng lì shuǐ yù chū kūn gāng jiàn hào jù què zhū chéng yè guāng guǒ zhēn lǐ nài  
金生麗水、玉出崑崗。劍號巨闕、珠稱夜光。果珍李柰、  
cǎi zhòng gāi jiāng hǎi jiān hé dàn lín qián yǔ xiāng lóng shī huǒ dì niǎo guān rén huáng  
菜重芥薑。海鹹河淡、鱗潛羽翔。龍師火帝、鳥官人皇。

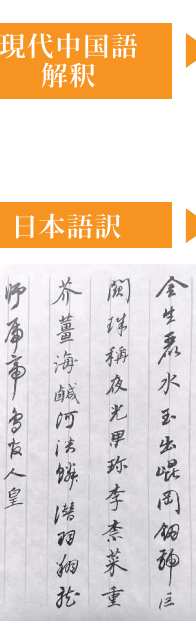
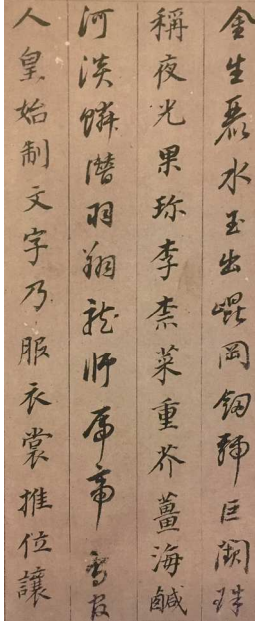
読下し文

金は麗水に生じ、玉は崑崗に出づ。劍は巨闕と号し、珠は夜光と稱す。  
果は李柰を珍とし、菜は芥薑を重んず。海は鹹く河は淡く、鱗は潜み  
羽は翔る。龍師・火帝、鳥官・人皇。

黄金産在金沙江，玉石出在崑崙山崗。最鋒利的宝剑叫“巨闕”，  
zui guì zhòng de míng zhū jiào yè guāng shuǐ guǒ lì zài zhēn guā de shì lǐ zǐ hé nài zǐ shù cài zhòng zu zhòng  
最贵重的明珠叫“夜光”。水果里最珍贵的是李子和柰子，蔬菜中最  
yào de shì gāi cài hé shēng jiāng hǎi shuǐ shì xiǎn de hé shuǐ shì dàn de yú ér zài shuǐ zhōng qián yóu  
要的是芥菜和生姜。海水是咸的，河水是淡的，鱼儿在水中潜游，  
niǎo ér zài kōng zhōng fēi xiáng lóng shī huǒ dì niǎo guān rén huáng zhè dōu shì shàng gù shí dài de dì huáng guān yuán  
鸟儿在空中飞翔。龙师、火帝、鸟官、人皇，这都是上古时代的帝王官员。

黄金は金沙江から採れ、玉は崑崙山から産出した。最も鋭利な宝刀は「巨闕」と呼ばれ、最も貴重なもの珠は「夜光」と呼ばれた。果物の中で珍しく貴重なのは李と柰であり、野菜の中で最も重要なのは芥子菜と生姜である。海の水は塩からく、河は淡水で、魚は水中を潜って泳ぎ、鳥は空中を飛び廻る。龍師・火帝・鳥官・人皇、これらは皆古代の皇帝たちである。

書家简介 ▶ 董其昌(1555年～1636年)：中国明代末期に活躍した文人。特に書画に優れた業績を残し、独自の画論は、文人画（南宗画）の根柢を示しその隆盛の契機をつくったといわれる。董が後世へ及ぼした影響は大きく、芸林百世の師と尊ばれた。華亭景（今の上海市松江区）の人。



日中書画探訪の旅 (5) 川波猗峰

くちばし、むなもと、うづめ、胸元を埋め静かに目を閉じ、瞑想中の哲学者の如き姿を呈している。また、洗墨による表現は、羽毛の柔らかさと潤いとを的確に表現している。そんな「鳥石図」と題された画を描いたのは、「八大山人」こと「朱耷」である。八大山人(1626?～1705?年)は、江西省南昌生まれで、明王朝(洪武帝・朱元璋(1328～1398年)を創始者とする)の一族出身である。幼少よりその才を発揮し、将来を囑望されたが、1644年明の滅亡と共に彼を取り巻く環境は勿論のこと、彼自身の生活自体が一変した。清軍の侵攻を避けて1648年に出家。その後仏道に精進した。死ぬこともできない僧にとって、唾や狂人を装い、遺民(君主や王朝が滅びたのちも生き残って、遺風を伝えている民。また、旧主が滅びても、節を持して、新しい君主に仕えない者)として「明の再興」を心の奥深くに抱いたまま、己が生を全うしていくしかなかったのであろう。こうした鬱々とした心情を表すかの如く落款の「八大山人」の文字が、時には「哭之(之を哭す)」と読め、またある時には「笑之(之を笑う)」とも読める。正しく清朝のものとなった世への反骨の精神の表れであり、こうした心の投影が書にも画にも紛れもなく見られる。

この画を含む一連の作品は、「安晚冊(安晩帖とも)」として一冊(全22葉)になっており、住友家の美術コレクションを集めた「泉屋博古館」(京都が本館、東京に分館あり)に所蔵されている。この作品、一説には69歳の頃の筆だという。安晩とは「安らかな晩年」といった意味で、その題辞には「その昔、東晋の宋炳(画家)がかつて遊んだ山水を晩年に室内の壁に描いて臥遊を楽しんだ心境だ」と書いてある。果たしてそうであろうか？ 確かに画面からは「絶妙な安逸」が感じられるが、それでも時折見せる魚や鹿、鳥の天を射るような鋭い眼差しには、「思いは消えてはいないよ!」という彼の本心が見え隠れしていて、そうせざるを得なかった彼の心情を慮ると、実に切ない。



縦31.8×横27.9 cm